

# 2019年度 第1四半期 決算概要

2019年7月26日

沖電気工業株式会社

## 2019年度 第1四半期 決算の概要

- 工事進行基準の適用範囲拡大の影響もあり、売上高が大幅に増加
- 売上増に加えて前年度の構造改革効果で各利益とも良化

(単位:億円)	19年度 実績	18年度 実績	前年比
売上高	1,076	889	+ 187
営業利益	11	8	+ 19
経常利益	1	17	+ 18
(親会社株主に帰属する) 四半期純利益	4	18	+ 14
USD平均レート(円)	109.9	109.1	+ 0.8
EUR平均レート(円)	123.5	130.1	6.6

## 2019年度 第1四半期 セグメント情報(売上高)

- 情報通信は、NW関連や一部官公庁向けの拡大に加えて工事進行基準の適用範囲の拡大が影響
- メカトロシステムは、前年度にあった国内大型案件(現金処理機)が一巡
- プリンターは、前年度の消耗品売上の一時的な増加が剥落したほか、為替(円高)の影響もあり減少
- EMSは、FAや半導体関連の売上が減少、医療や航空・宇宙関連は堅調

(単位:億円)	19年度 実績	18年度 実績	前年比
情報通信	528	288	+240
メカトロシステム	167	176	9
プリンター	229	252	23
E M S	138	159	21
その他	14	14	0
合計	1,076	889	+187

EMSおよびその他の18年度実績はリステート後

## 2019年度 第1四半期 セグメント情報(営業利益)

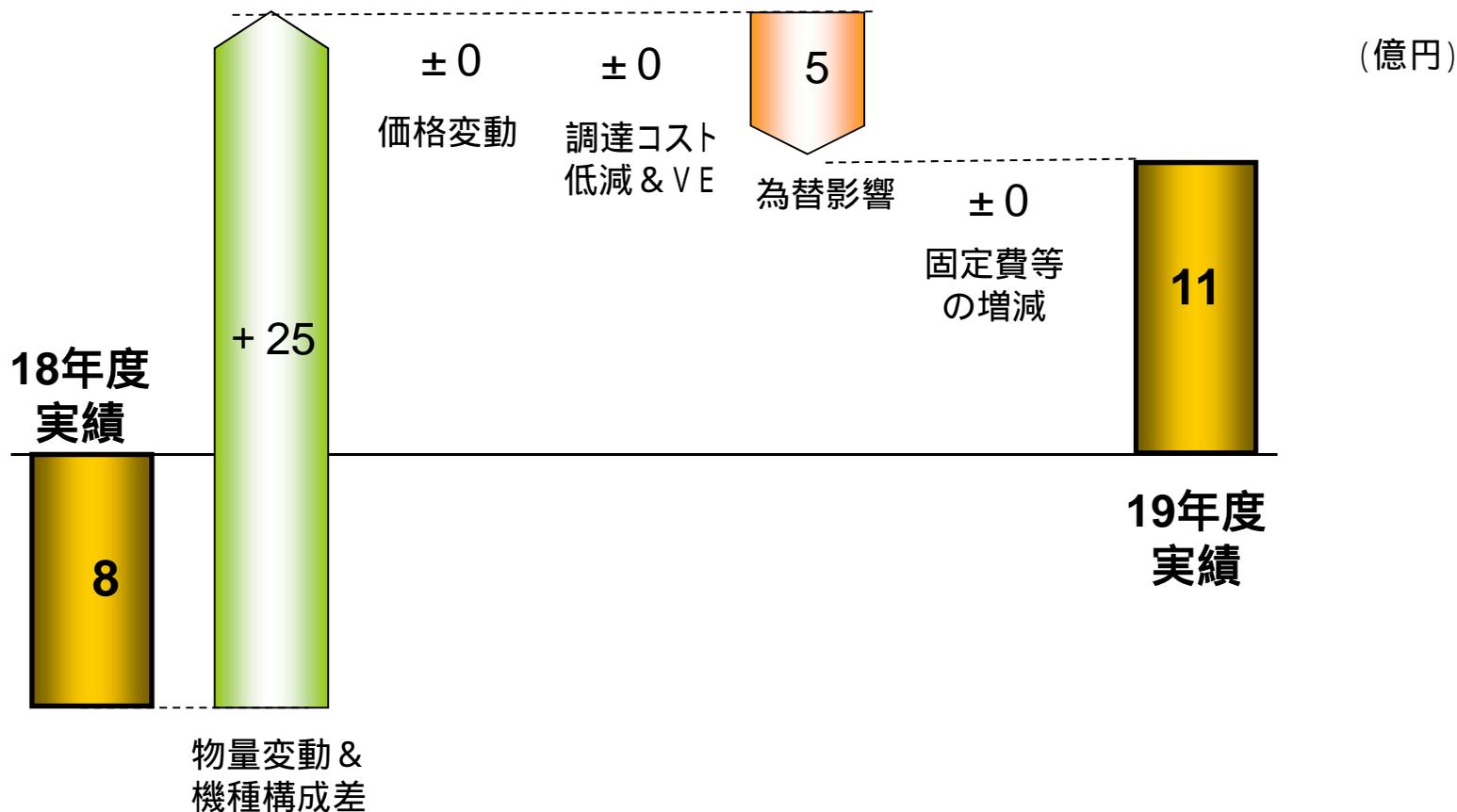
- 情報通信は、売上高増加の効果があり、大幅に良化
- メカトロシステムは、前年の構造改革効果により良化
- プリンターは、消耗品売上の減少に加えて為替(対EUR円高)の影響があり減益
- EMSは、売上減少の影響により減益

(単位:億円)	19年度 実績	18年度 実績	前年比
情報通信	25	5	+30
メカトロシステム	7	15	+8
プリンター	5	19	14
EMS	2	6	4
その他	2	3	1
消去・本社費	17	16	1
合計	11	8	+19

EMSおよびその他の18年度実績はリステート後

# 2019年度 第1四半期 営業利益の変動要因

● 売上高増加の効果により大幅に良化



## 2019年度 第1四半期 B / Sの概要

- 各資産・負債の構成に大きな変化無し
- その他の包括利益累計額の減少により自己資本比率は1.9ポイント減少

(単位:億円)	19年6月	19年3月	前年度末比
流動資産	2,192	2,232	40
固定資産	1,367	1,423	56
資産の部	3,558	3,655	97
流動負債	1,763	1,762	+1
固定負債	890	891	1
負債の部	2,654	2,653	+1
自己資本	902	999	97
その他	3	3	0
純資産	905	1,002	97
負債及び純資産合計	3,558	3,655	97
自己資本比率(%)	25.4	27.3	1.9
DEレシオ(倍)	0.9	0.8	+0.1

## 2019年度 第1四半期 キャッシュフローの概要

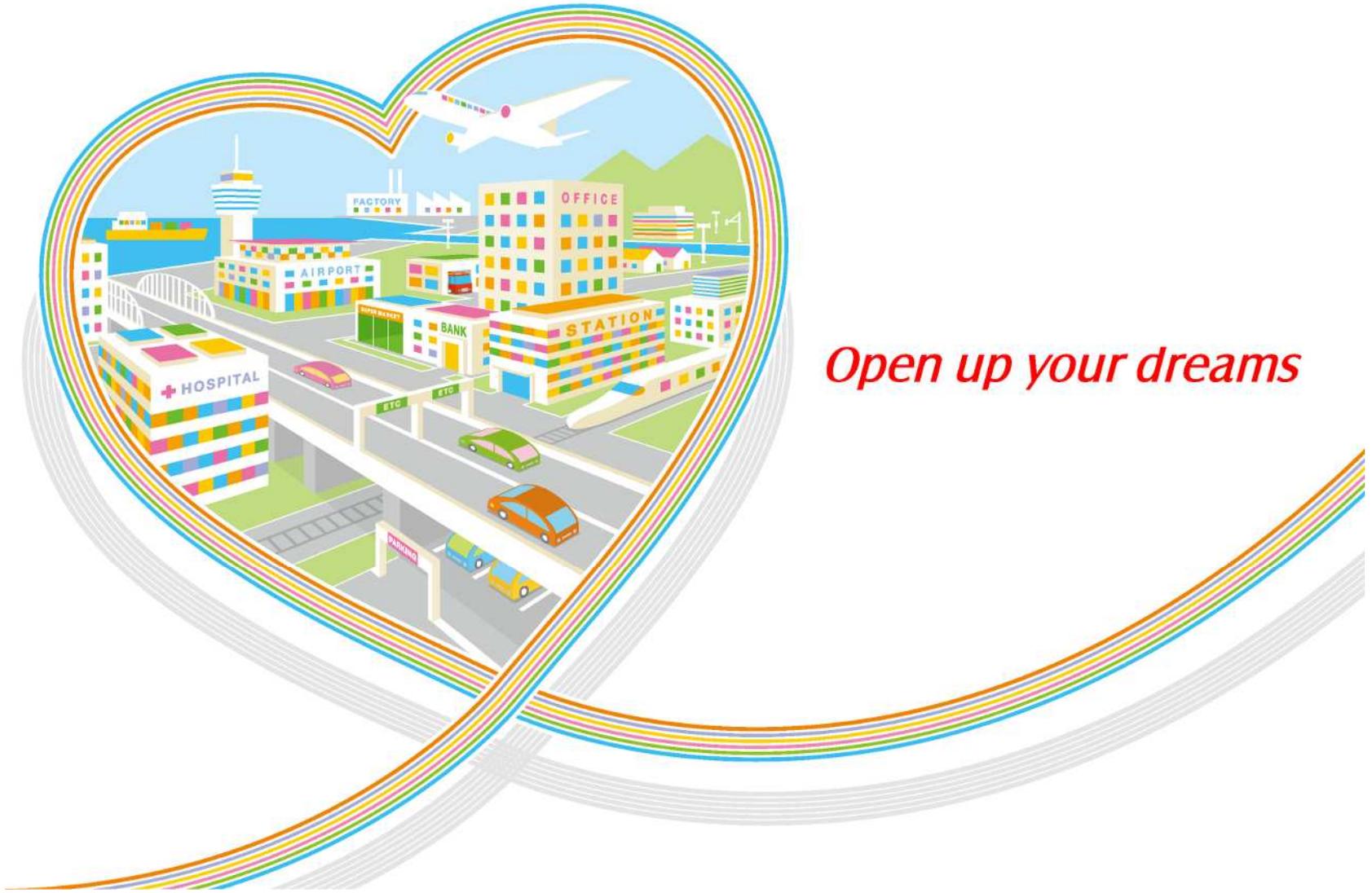
- 投資有価証券の売却により投資キャッシュフローが良化

(単位:億円)	19年度 実績	18年度 実績	前年比
営業キャッシュフロー	112	113	1
投資キャッシュフロー	7	29	+ 36
フリー・キャッシュフロー( + )	119	84	+ 35
財務キャッシュフロー	49	73	+ 24
現金および現金同等物の残高	336	466	130
固定資産取得額	39	30	9
減価償却費	30	29	+ 1

## ご注意

本資料における業績予想および事業計画等は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断される一定の前提に基づいております。したがって実際の業績は様々な要因により、これらと異なる可能性があることをご承知おきください。

億円単位の数値の表示方法について：  
各項目の数値は、それぞれの数値の億円未満を四捨五入して表示しています。  
また増減については、億円単位の数値を元に計算しています。



*Open up your dreams*